

2018 年秋学期の全時間訓練のための  
メッセージアウトライン

主題：  
中心的なビジョン

メッセージ 1

天のビジョンと使徒パウロの征服する改心

聖書：使徒9:1-19. 22:6-16. 26:13-19

**I. パウロの完成する務めの天のビジョンはわたしたちによって見られなければなりません。また、このビジョンは日々わたしたちの中で更新されなければなりません——使徒26:19. エペソ1:17. 箴29:18前半：**

- A. この時代のビジョンはわたしたちを神の臨在の中で生きさせます。このビジョンはわたしたちを保ち、制御し、この時代の必要を満たすわたしたちの神聖な使命となります——エレミヤ1:7-10, 18-19. イザヤ6:1-8. 使徒26:16-19。
- B. わたしたちが神のご計画のビジョンを見て、あらゆるものからキリストご自身へと転換したとき、彼はわたしたちにとって内側で働く神となり、わたしたちを活気づけて、ご自身のご計画を達成します——ガラテヤ1:15-16. ローマ15:16. I コリント15:10. ペリピ2:13. 参照、エレミヤ1:1, 4-10, 18-19。
- C. 最終的に、反対していたサウロは福音の彼の勝利の務めにおいて、キリストのすべての敵に対する彼の勝利を祝賀する凱進行進における征服された捕虜となりました。主が彼の選びの器をそのような方法で成就することは、卓越しており、すばらしいです——使徒26:14. II コリント2:14. エペソ4:7-12。

**II. タルソのサウロがダマスコの途上にいたとき、天のビジョンが彼に來ました。そして、このビジョンは彼に變革をもたらしました——使徒9:1-19. 22:6-16. 26:13-19：**

- A. ビジョンを見た後、彼は盲目になり何も見ることができず、無能になり何も行なうことができなくなりました。祝福された盲目が天のビジョンに遭遇した人に臨みます：
  - 1. この盲目がわたしたちに臨んだ後、内なる油塗り、内なる輝き、内なる照らしがあるようになります。かつて神の敵どもであったわたしたちは、新約の務めの祝宴の中へともたらされ、キリストの命の中で救われます——14節. ローマ5:10. I コリント5:8. 参照、列王下6:18-23。
  - 2. 内なるビジョンはますます増し加わり、わたしたちが主に仕える方法に変革をもたらします。このビジョンはわたしたちを支配し、その霊によって、わたしたちの霊の中で、からだの中で、からだを通して、からだのために、あらゆることを行なわせます——ガラテヤ5:25. ペリピ3:3. ローマ1:9. I コリント12:12, 27。
- B. 三日間サウロは何も見ることができず、何を食べることも飲むこともしませんでした。彼はただ祈るしかありませんでした——使徒9:9, 11：
  - 1. 本質上の霊の靈感の下で、彼の唯一の関心は、自分が見て聞いたことの意義を知

るために祈ることだけでした——22:14-15。

2. サウロが祈っていたとき、神の具体化、神の奥義であるキリストと、キリストのからだ、キリストの奥義である召会に関するビジョンに次ぐビジョン、啓示に次ぐ啓示が彼に來たと考えられます——コロサイ2:2. エペソ3:4. 5:32。

3. 使徒行伝第9章に記録されたパウロのビジョンのそれぞれの極めて重要な点は、わたしたちにとって単なる教えではなく、わたしたちが天的な「テレビ」で見るビジョンであるべきです。

C. 使徒行伝第9章を読むとき、わたしたちは三つの項目——「わたし（4節）」、「イエス（5節）」、「選びの器（15節）」——に関して、天のビジョンを見る必要があります。

### Ⅲ. 「サウロ、サウロ、なぜわたしを迫害するのか？」——4節：

A. これは、団体の「わたし」であり、主なるイエスと彼のすべての信者から成っています。彼はかしらであり、わたしたちは一人のパーソン、一人の新しい人である彼のからだです——エペソ2:15. コロサイ3:10-11。

B. サウロ（パウロでもある）は、主イエスと彼の信者たちが一つの大きなパーソン、すなわち不思議な「わたし」であることを見始めました。彼にとって、これは宇宙全体における比類のない啓示でした——使徒13:9前半. ローマ12:4-5. Iコリント12:12-27. エペソ3:3-4. 5:32。

C. パウロは「キリストのからだ」という用語を用いた新約で唯一の著者です。彼がからだを大いに強調したのは、彼の改心の時、彼は団体の「わたし」に関するメッセージ、キリストのからだに関するメッセージを聞いたからです——ローマ12:4-5. Iコリント12:12-27. エペソ1:22-23. 2:16. 4:4, 16. コロサイ2:19。

D. サウロが救われた直後、主はキリストのからだに関して彼を教育し始めました。自分がからだの肢体であることを見た人たちは、からだを大切に、他の肢体を尊びます——使徒9:6, 17-18, 24-25. Iコリント12:23-24. 16:18。

### Ⅳ. 「『主よ、あなたはどなたですか？』。すると主は言われた、『わたしはあなたが迫害しているイエスである』」——使徒9:5：

A. ここの「主」はヘブル語の「エホバ」という言葉に等しいです——出3:14-15. ヨハネ8:58。

B. 「イエス」という名は福音の完全なメッセージを具体化しています。パウロが見たのは、イエスがエホバ救い主であることと、今や天にいる方として彼は、肉体と成ること、人の生活、死、復活、昇天を経過して、キリストのからだを生み出し、建造しているということです——ローマ9:5. エペソ1:19-23。

C. パウロが見たのは、イエスがまさにエホバなる神であり、彼は神と人の要素をもって手順を経て、究極的に完成されて、昇天された主、からだのかしら、命を与える霊、イエスの霊とされたことであり、それは彼が彼のすべての肢体の中へと分与されるためであるということです——ローマ10:12-13. コロサイ1:18前半. Iコリント15:45後半. 使徒16:7. ピリピ1:19。

D. パウロが見たのは、宇宙の中心はわたしたちの中にあるキリストであり、わたしたちはキリストの中にあるということです。彼が見たのは、神のご計画が、命なるキ

リストをわたしたちの中に啓示することであり、それはわたしたちがキリストを生きるためであり、またわたしたちをキリストの中へと入れることでもあり、それはわたしたちが彼のかたちに同形化され、他の人たちと共に建造されて、彼の生けるからだとなり、彼の団体の表現となるためであるということです——ガラテヤ1:15-16. 2:20. 4:19. ローマ8:28-29. 12:1-5. エペソ1:22-23. 3:16-19。

**V. 「この人は……わたしの選びの器である」——使徒9:15 :**

- A. タルソのサウロを救うことでの神の意図は、ご自身をもって彼を満たし、それによって彼を際立った器とすることです——コロサイ1:25. エペソ3:8-9。
- B. パウロの手紙は「器」という言葉の霊的な意義を発展させています：
  - 1. パウロが見たのは、人が三部分から成る器であり、命であるキリストを内容とし、また彼で満たされることであり、それはキリストのからだを建造するためであるということです——創2:7. Iテサロニケ5:23-24. ローマ9:21, 23. IIコリント4:6-7. IIテモテ2:20-21. 参照、列王下4:1-6. エレミヤ48:11。
  - 2. キリストのからだは神の大きな団体の器であり、彼を内容とし、彼で満たされて、神の表現となります——エペソ3:16-19。
- C. 神の選びの器として、パウロはあらゆるものからキリストご自身へと改心しました。すなわち、主の御名を呼び求めることへ、彼の御名のために苦しむことへ、彼の御名を異邦人、王たち、イスラエルの子たちの前で担うことへと改心しました——使徒9:14-16. 22:16。

**VI. 使徒パウロの完成する務めの中心的なビジョンは、わたしたちの内容（「器」）としてわたしたちの中にいる神、神の奥義としてのキリスト（「イエス」）、キリストの奥義としての召会（「わたし」）です——9:4-5, 15 :**

- A. 使徒行伝におけるパウロの宣べ伝えと彼の書簡における彼の手紙は、彼によって見られた天のビジョンの詳細な記述です——26:16. 22:15. エペソ3:3-6。
- B. 主はパウロに現れて、彼を奉仕者として、またパウロが主について見たことと、主がパウロに現れたことの両方の証し人として任命しました——使徒26:16. 参照、1:8. 23:11. 20:20, 31。
- C. パウロは自分が見たすべてのビジョンにおいてキリストを見ました。わたしたちがキリストを見たことと彼がわたしたちに現れたことは、他の人たちに分け与えなければならないことです——ガラテヤ1:15-16. 使徒22:14-15。

**VII. 今日の主の回復は、パウロの完成する務めの中心的なビジョンです——26:13-19. コロサイ1:25. エペソ5:32 :**

- A. パウロは、「神の言を完成するため」に委託を受けたと言います。これは、神の啓示を完成することを意味します。パウロの手紙がなければ、神の啓示は完全ではありません——コロサイ1:24。
- B. わたしたちは、この完成、この中心的なビジョンが三つの項目から成っていることを覚えておかなければなりません：
  - 1. 今日、わたしたちの神がわたしたちの中にいるのは、わたしたちの内容となるためです——エペソ4:6. 3:10. ピリピ2:13. ヘブル13:20-21。
  - 2. 神の意義は、神の具体化、また現れとしてのキリストであり、神をわたしたちに

とってとても实际的で、享受のあるものにします——コロサイ2:9。 I テモテ3:1  
6. 詩19:8. 34:8。

3. キリストの奥義は、三一の神が、死を通して、復活の中で、ご自身をわたしたちとミングリングし、わたしたちを彼の有機的なからだの生ける肢体とします——エペソ4:15-16. コロサイ2:9. I コリント12:12。
- C. このビジョンはわたしたちを導かなければなりません。それはわたしたちを中心路線の中に保ち、ミングリングされた霊にしたがって歩ませ、からだの生活の中にあるようにします。これは主が求めておられることです。
- D. わたしたちは、立ち上がって、「主よ、わたしはここにいます。あなたが使徒パウロに行なったように、わたしに中心的なビジョンを見せてください」と言う、いくらかの忠信な者たちを必要とします。

© 2018 *Living Stream Ministry*